

création

男女共同参画の視点から考える 「表現のガイドライン」

前号のクレアションの記事「男女共同参画週間」でもご案内したとおり、私たちは知らず知らずのうちに、“思い込み”による表現から、固定的な性別役割分担意識を形成し、物事を判断してしまうことがあります。

大阪府では、男女共同参画の視点から考える「表現のガイドライン」を作成し、情報発信の際、固定観念や偏見の助長につながらないよう、意識するように発信しています。

みなさんも以下のポイントに注意してみましょう

①性別によって役割を固定化していませんか

②男女いずれかに偏っていませんか

③性別によってイメージを固定化していませんか

④男女が対等な関係になっていませんか

言葉：日頃何気なく使っている言葉にも、これまでの社会の習慣やしきたり、性による固定化されたイメージが反映されている場合があります。ちょっと意識してみましょう。